



# 小川小学校

小川小日記



HP:<http://ogawa-e.murakami.ed.jp>

## 「家族」と「直接体験」で

校長 佐久間 義久



「放課後子ども教室」にて。友だちと何かを作って遊ぶって楽しいねー!!

教員の勉強会でのことです。講師から「<sup>ソサエティ</sup>Society5.0時代※1に生きる子供たちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテム※2です。(※1 狩猟社会は Society1.0、農耕社会：Society2.0、工業社会：Society3.0、情報社会：Society4.0 に続く新たな社会 ※2 必需品)」と改めてお聞きするとともに「適切かつベストミックスによる個別最適な学びを」とのこと。紙か、デジタルか、ではなく両方を適切に選択して学ぶことが大切とのことでした。

ですが、ICT が身近になればなるほど、大人も「ググる」姿が日常となり、『国語辞典』が身近でなくなった昨今、誰もがメディアコントロール(以下メディコン)の難しさを感じています。1学期の保護者アンケートでも、メディコンが「できていない・あまりできていない」は40%を超えています。それこそ、本から得る知識、メディアから得る知識、そのベストミックスが望ましいのはよく分かるのですが、どのようにコントロールすればよいのか悩みは尽きません。それこそ、オーストラリアの『16歳未満 SNS 禁止法案可決』を聞いたとき、やっぱり世界共通の悩みの種だと改めて感じました。

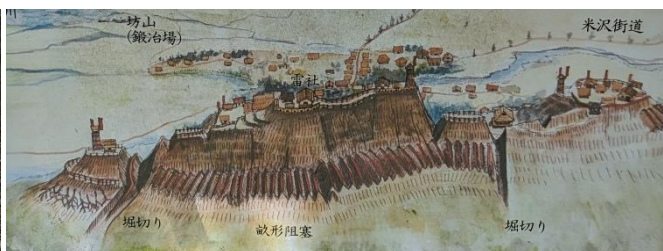


また、メディコンは子供だけでなく、大人も、「SNS をぼんやり見ていると1時間はあつという間」はあるあるで、結局、大人も子供も「分かっちゃいるけどやめられない」ところに難しさがあります。『適切に使う』ことは大人も子供も共通のテーマです。

2学期も終わりに近づき、冬休みはすぐそこです。冬季休業中のメディコンとベストミックスのための大切なキーワードは、「家族」と「直接体験」だと考えています。家族団らんの温かさを感じることで、家族や親族みんなで何かやることの楽しさを味わうことで、メディコンが一歩進む・・・そんな冬休みを願っています。



**誇れる地域の歴史「大葉澤城跡」** 4年生が地域の歴史として、大葉澤城について学びました(裏面記事)。石垣はなくとも、村上城主とも争った鮎川氏の大葉澤城に残る遺構には、素晴らしいものがあります。まだの方は、ぜひ『直接体験』を。畝形阻塞、空堀、土塁にしばし見入ること請合いです。



## 3年生 村上警察署の見学 ～警察の仕事を学習しました～



3年生が、社会科の学習で村上警察署に見学に行きました。子どもたちは、普段見ることができない警察署の建物内を見学したり、警察の仕事についてのお話を聞いたりすることができました。天候があまりよくなかったのですが、晴れ間をぬって、パトカーを見せてもらい、実際に乗車したり、拡声器で声を出させていだいたりして、大喜びでした。また、警察官の帽子や制服などの装備品を身に着けさせていだいたり、いろいろな形の刺股などの道具を使わせていだいたり、貴重な体験をしてきました。子どもたちは、この見学を終えて、交通ルールを守って安全に過ごすことや犯罪を起こさないようにすることなど、生活の上で大切なことをたくさん勉強させていただきました。学んだことを生かして、社会のルールを守る人になってほしいです。

## 郷土の史跡「大葉澤城跡」について学習しました～4年生社会科より～



4年生が郷土の史跡である「大葉澤城跡」について、講師の高橋一栄様（大葉澤城跡保存会）からお話を聞きました。地元で県指定史跡に指定される史跡があることに驚き、熱心にメモを取っていました。お話を聞いた後は、自分たちで作った紙の刀と兜を身に付け、上杉軍と武田軍に分かれて模擬合戦をしてみました。両軍ともに「エイエイオー」と勝鬨をあげて戦を再現しました。当時の様子を想像できて楽しそうでした。最後に自分の想像したお城の絵を描きました。素敵な絵がたくさん描きました。この学習をきっかけに、郷土の史跡に興味を持って調べてほしいと思います。

## 赤い羽根共同募金を行いました ～環境・ボランティア委員会～



12月9日～10日、環境・ボランティア委員会が、赤い羽根募金を行いました。当日はたくさんの子どもたちが募金箱に募金を入れてくれました。委員会の子どもたちは笑顔でお礼を言っていました。温かなご協力ありがとうございました。集めたお金は、社会福祉協議会に届け、高齢者・障害者・災害の被災者等の皆様の支援のために使させていただきます。ご協力ありがとうございました。